



丹後地域 第31号

リハビリ通信

～うさぎのプランコ～

編集/発行
丹後地域リハビリテーション支援センター
(公益財団法人 丹後中央病院内)
〒627-8555 京丹後市峰山町杉谷 158-1

TEL 0772-62-8301 FAX 0772-62-8302
e-mail tango-rehabili-shien@tangohp.com
<http://www.tangohp.com/tangoshien.html>

ホームページより PDF 形式でご覧いただくことができます

看護職介護職ステップアップ研修 開催報告 (第4回～第6回)

第4回「こころの病を患っている方との接し方」

平成30年9月21日(金)開催

講師：海尻 考昭 氏 (作業療法士)

(天の橋立訪問看護ステーション)

92名の方にご参加いただきました。



幻聴体験ができ、具体的な対応方法を学ぶことができる研修会でした。

研修会直後アンケートより

【明日から実践しようと思ったことは何ですか？】

- ・否定も肯定もせず冷静に共感的に対応してみたい
- ・時間をかけて話を聞く
- ・自分の身の上話も入れて対応していきたい
- ・1分から30秒待つ心構え、同感せず共感できることを大切にしたい

ワンポイント

- ・こころの病を患っている方の対応(変化)には時間をかける
- ・対象者にとって、支援者が悪い影響がない人だと思ってもらうことが対応のスタート
- ・同じ目線で一人の人として捉え、対応する。怖がらない。下に見ないように。

第5回「体感して見直そう！そして明日からはじめよう！不安と痛みのない保湿&口腔ケア」

平成30年10月19日（金）開催
講師： 中西 直美 氏（歯科衛生士）
（口腔ケア support nao）

57名の方にご参加いただきました。



口腔内の観察の仕方や歯みがきティッシュやスポンジブラシを使用して自分の口腔ケアをすることで利用者さんの気持ちを知ることができました。

研修会直後アンケートより

【明日から実践しようと思ったことは何ですか？】

- ・目を合わせ安心してもらえる言葉かけ、少しでも痛み・不安感を取り除けるように目指したい
- ・痛みを出さないように気を付ける
- ・保湿剤をもっと有効的に使っていく
- ・目を見て、唇を見てからケアする

ワンポイント

- ・視線を同じにして、目を合わせてゆっくり穏やかな口調で声をかけ、覚醒した状態を確認する（これからお口のケアをすることを説明し、同意を得る）
- ・安全で楽な姿勢（体位）
ヘッドアップ45~60度とれるとよい
起こせない時は、側臥位（健常側下に）

第 6 回「ポジショニング」

平成 30 年 11 月 16 日（金）開催

講師：小川 雄 氏（作業療法士）

（介護老人保健施設リハ・ヴィラなぎさ苑）

那須 彩乃 氏（理学療法士）

（特別養護老人ホーム 安寿の里）

50 名の方にご参加いただきました。



マットレスの違いやポジショニングの体験ができる研修会でした。

研修会直後アンケートより

【明日から実践しようと思ったことは何ですか？】

- ・楽な体勢で過ごしてもらえるようにポジショニングの見直し
- ・耐圧分散ケア
- ・クッション等をしっかり体になじませる
- ・楽な姿勢を考える、全体を見る
- ・除圧だけでなく呼吸が楽かまで観察する

ワンポイント

- ・局所だけでなく、姿勢全体を見据えた体圧分散を基本とし、快適性や安楽、良姿勢、心身機能、睡眠への配慮、患者への尊厳を考慮して行なう
- ・体圧を圧分散させること
局所に集中させない、圧力を減少させる、接触面を広くする
- ・体位変換を行うこと
体位や姿勢を変えること

第 2 回事例検討会 「丹後各市町における地域包括ケアを リハビリテーションの視点から考える」 開催報告

日 時：平成 30 年 10 月 29 日（月）

時 間：14 時 00 分～16 時 30 分

会 場：大宮ふれあい工房

内 容：実践報告・グループワーク

伊根町保健福祉課 理学療法士 小牧有貴氏

伊根町保健福祉課 社会福祉士 坂井亜紀子氏

参加者：33 名



伊根町役場の小牧氏と坂井氏に多職種で支援した事例の実践報告をして頂きました。その後、発表事例を各市町に置き換えて、地域包括ケアにおける支援体制の課題や現状の資源を活用してどのように支援するのか、これからどのようにリハビリテーション専門職を活用していくのかについてグループワークを行いました。

多職種で連携することの重要性について再認識し、各市町で課題を共有することができました。

第 3 回事例検討会 「在宅看取りとリハビリテーション」 開催報告

日 時：平成 30 年 12 月 4 日（火）

時 間：13 時 30 分～15 時 00 分

会 場：京丹後市峰山総合福祉センター

内 容：1) 実践報告・グループワーク

京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ 介護支援専門員 藤原幹裕氏

2) 講演「在宅看取りにおけるリハビリテーション」

丹後圏域地域リハビリテーション支援センター 理学療法士 志水美智也 氏

参加者：35 名

今回は京丹後市と共同開催しました。京丹後市の網野・丹後・弥栄の地域ケア会議の枠の中で事例検討を行いました。

京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅの介護支援専門員藤原氏に在宅看取りの実践報告をして頂きました。その後、在宅看取りにおける支援についてグループワークを行いました。つづいて、「在宅看取りにおけるリハビリテーション」をテーマに講演を行いました。在宅看取りの中でもリハビリの視点をうまく活用して頂けたらと思います。